



集中してゆっくりと丁寧が大切



全日本高校・大学生書道展で優秀賞
黒沢 志保乃さん・16歳
横沢町

第12回全日本高校・大学生書道展で、全国から応募があった9、653点の作品の中から、優秀賞に選ばれた。この展覧会は「学生書道のグランプリ」ともいわれている。
「この書道展で入賞するなんて本当にうれしいです。でも、出展した作品には、ちよつと納得していない部分もあるんです」
伯母が書道の先生。その影響もあり、幼稚園に通う6歳から書道を始めた。
「中学生のときは、吹奏楽部に所属していましたが、でも、字を書くことが好きで、高校に入り再び書道を始めました。集中して筆を走らせていると、嫌なことを忘れられるんです。そこが大好き」
出展した部門は漢字。古典の臨書

だ。2時間集中し、一気に書き上げたという。
「いつも、早く書き過ぎて雑になってしまふんです。だから、ゆっくりと丁寧に書くことを心掛けています」
普段は、音楽を聞いたり、友達と買い物をしたりして楽しんでる。市立前橋高の2年で、書道部の部長として、部員をまとめる役割も。
「今は、11月に行われる高校総合文化祭や県民芸術祭に向け、部員全員で毎日頑張っています」
将来は福祉関係の仕事に就きたいという。もつとまくなりたいたので、習字だけは続けていきたいと力強く語った。人一倍の向上心と努力を惜しまない今の気持ちを、いつまでも持ち続けてほしい。

さわやかな汗を流しながら

9月2日、市民体育館でふれあいスポーツ大会を開催。障害を持つ人やその介助者、ボランティアなど340人が参加し、心地よい汗を流しました。会場は温かい声援や拍手で包まれ、笑顔もいっぱい。互いの健闘をたたえ合い、親ほくを深めていました。



盛大に生涯学習の祭典

総合福祉会館で9月1日・2日、「生涯学習フェスティバル2007」を開きました。自治会広報紙や各地区の生涯学習活動を紹介するパネルなどの展示や、55グループが踊り、歌、演奏などを披露。日ごろの成果を発表しました。

まちが熱いビートで活気



前橋テルサなどを会場に9月1日・2日の2日間、ライブ・イン前橋を開催。ロックや弾き語りなど幅広いジャンルの演奏が披露され、中心市街地は熱気に包まれていました。

8月26日、敷島公園でホリデーイン前橋が開かれました。多彩な催しが行われ、多くの家族連れで大にぎわい。ピザ作り体験では地粉の生地を使い、窯で焼いた本格的なピザが出来上がり、参加者に大好評でした。



親子で本格的ピザ作り体験

若い芽のポエム

昨年度行われた第10回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

✦入選 不思議な扇風機

東小3年
竹内 大生さん

ぼくは、扇風機を買った。それは、不思議な扇風機。コンセントが、いらぬ。電池も、いらぬ。なぜなら、ソーラー電池だから。「すごいなあ。」

うとした。すると……鳥のはねは、ピヨンとちゅうにまいる。とんどん とんどん とんどん。まるで、空のあなたへすいこまれるように。わらいながら、ぼくは言った。「とんでいって、よかったよ。」

✦入選 おたまじゃくしとり

嶺小2年
小見 竜聖さん

スイッチを入れると、はねがまわる。でも、風がこない。「おかしいなあ。」

よく見たら、本物の鳥のはねではないか。どうも、風がこないと思ったよ。「強」のボタンをおすと、えの部分、きん肉ももりになった。いつしゅん、ぼくをなぐるかと思っただよ。あわてたぼくは、スイッチを切る

すでとると、死んじゃった。おなかからへんなものが、でてきたぐるぐる、うずまき。これは、なんかなあー?? 水の中にいれても生きかえらない。かわいそうだなあー。ゆびの力をぬいた